

「カジノ反対！パチンコ廃止！ギャンブル依存症から日本を守れ！」第一回パチンコ廃止を求める会デモ 12月15日・上野

コール文（決定稿）

コール A

ご通行中の皆さん、私どもは、パチンコの廃止を求める国民有志です。
現在、パチンコ産業は20兆円を売り上げ、全国11000店舗、50万人を雇用する巨大産業に成長しております。
この日本有数の巨大産業に成長したパチンコ産業はいったい日本に何をもたらしているのでしょうか？
莫大な数のギャンブル依存症です。
ギャンブル依存症は病的賭博ともよばれ、WHO、世界健康機関により病気として認められています。
厚生労働省の調査による患者数は500万人ともいわれており、その約80%にパチンコが関連しています。
パチンコ店の駐車場に置き去りされる子供の死亡事故、パチンコの金ほしさの犯罪、パチンコが関わる犯罪の背景にはギャンブル依存症があります。過去二十年で約80人もの子供がパチンコを理由とした事故により亡くなっています。

これ以上、ギャンブル依存症を生み出す、パチンコを野放しにしているのでしょうか？

これ以上、ギャンブル依存症に殺される子供の数をふやしてもいいのでしょうか？

ギャンブル依存症を生み出すパチンコ、国民を食いものにし続けるパチンコをこれ以上野放しにするわけにはいきません。

シュプレヒコール！

依存症をつくりつづけるパチンコは、許さないぞ。

国民生活を破壊するパチンコを、許さないぞ。

依存症で日本をむしばむパチンコを撲滅せよ！

家庭を壊し、子供をころすパチンコを廃止せよ！

カジノ！反対！

パチンコ！廃止！

カジノ法案を粉碎するぞ！

国民を食いものにするパチンコを許さないぞ！

コールB

私どもはギャンブル依存症をつくりつづけるパチンコの廃止を求める国民有志です。ただいま日本には200万とも500万とも言われるギャンブル依存症の患者が存在します。

こうしたギャンブル依存症が生み出すものは、犯罪と家族の苦しみだけです。日本では刑法185条でハッキリと賭博は禁止されております、しかし同時に「一時の娯楽」の範囲のものならば違法にならないという例外規定もあります。

つまり法律ではギャンブル性の高いものを賭博として禁止している反面、ギャンブル性の低いもの、「一時の娯楽」の範囲のものは禁止されていないのです。

「一時の娯楽」であるから賭博ではないというのがパチンコの法的な根拠です。

しかし、パチンコの高いギャンブル性はもはや「一時の娯楽」の範囲を超えはつきりと賭博のレベルになっているのではないのでしょうか？

一時間に一万円も負ける実態をもつパチンコが果たして「一時の娯楽」でしょうか？？

依存症を生み出し、数百万の人間が苦しむパチンコは果たして「一時の娯楽」でしょうか？？

「一時の娯楽」のなのもと、繰り広げられる賭博行為をこれ以上放置することはゆるされません。

シュプレヒコール！

娯楽の名もと営業される脱法賭博を許さないぞ！

パチンコはギャンブルより悪質だ！

依存症を作るパチンコを撲滅するぞ！

大衆娯楽をなめる大衆墮落、パチンコを追放せよ！

カジノ！反対！

パチンコ！廃止！

カジノ法案を粉砕するぞ！

国民を食い物にするパチンコを許さないぞ！！

コールC

みなさま、わたくしたちはパチンコ廃止をもとめる国民有志です。
パチンコは依存症を生み、依存症は犯罪と家族の苦しみを生み出します。
ほんらい社会の問題としてパチンコについて踏み込んだ報道しなければならない
マスメディアはパチンコ産業から莫大な広告料をもらっています。
この広告収入のためマスコミは積極的にパチンコの問題をとりあげないようです。
しかし影響の大きい問題を取り上げて報道することはマスメディアの社会的使命から
言ってあたりまえではないでしょうか？
多くの国民を破滅させ、死に追いやっているパチンコの実態を知りながら、
金を受け取り、流行らせるように宣伝をすることは
マスメディアの社会的使命をすてていると言わざるをえません。
パチンコ台のCMを流すテレビ。
パチンコ店の広告で稼ぐ新聞社。
ともにギャンブル依存症を生み出しているパチンコ産業の共犯者です。

我々は、パチンコ産業といっしょになって国民を食い物にするマスメディアを許しません。

シュプレヒコール！

マスコミはギャンブル依存症の実態を報道せよ！

ギャンブル依存症をつくるパチンコCMをやめろ！

新聞はパチンコ屋の折り込みチラシをやめろ！

パチンコ産業とともに国民を食い物にするマスコミは恥を知れ！

カジノ！反対！

パチンコ！廃止！

カジノ法案を粉砕するぞ！

国民を食い物にするパチンコを許さないぞ！

コールD

ご通行中のみなさん、私どもは国民を食い物にするパチンコに抗議するために集まった国民有志です。

ただ与党を中心として日本にカジノを作ろうという動きがあります。

東京オリンピックまでにカジノを作りたいと発言している政治家もいるようです。

しかしです、日本にはすでに、競馬、競艇など四つの公営ギャンブルが存在します。

さらに小さなカジノと言っているパチンコ店は全国一万二千店舗で営業中です。

このパチンコ店、完全に合法とは言い切れない部分があると指摘され株式上場を拒否されています。

監督官庁の警察庁ですら「ただちに違法とは呼べない」と合法性を保留するような答弁をしており、合法であるとは言い切れないようです。

三点方式とよばれる、ごまかしに満ちた方法で換金がおこなわれていることはもはや周知の事実です。

こうしたごまかしを続ける日本は本当に法治国家と呼べるのでしょうか？

違法性の指摘がされる産業が白昼堂々と営業している日本は法治国家といえるのでしょうか？

違法性の指摘される方法で換金を行い、ギャンブル依存症をつくりつづける日本は法治国家といえるのでしょうか？

ごまかしに満ちた換金方法をそのままにカジノをつくることは、さらにギャンブル依存症を生み出すことになり日本を土台から腐らすことになりかねません。

私たちは、ごまかしにみちた換金方法を放置したままのカジノ推進を許しません。

シュプレヒコール！

パチンコの換金システムは許さないぞ！

警察はパチンコを取り締まれ！！

パチンコを廃止せずカジノ推進はやめろ！

復興を利用するカジノ推進をゆるさないぞ！

カジノ！反対！

パチンコ！廃止！

カジノ法案を粉砕するぞ！

国民を食い物にするパチンコを許さないぞ！！